

令和6年度 自己評価書

学校名

北海道登別明日中等教育学校

本年度の重点目標

- (1)個性や能力の伸長に向けた、きめ細かな学習指導の充実
(2)生徒の多様化に対応し、健康・安全教育や教育相談活動の充実
(3)地域と保護者との連携を重視した教育活動の充実
(4)国際理解・グローバル教育、外国語教育などを通し、外国語(英語)による思考力・判断力・表現力の育成
(5)6年間を見通した計画的な進路指導の充実
(6)年齢の異なる生徒による相互交流とボランティア活動、自然体験活動、芸術鑑賞等、異年齢集団による活動や本物に触れる活動の重視

自己評価結果

評価項目・指標等			達成 状況	取組 の 適切さ	今後の改善の方策
大項目	中項目	小項目			
教務部	学習指導	1 シラバスを適切に運用し、授業の進度や難易度は適切であったか。	A	B	○「主体的・対話的で深い学び」の具体的な授業改善を示し、授業や評価方法の改善に引き続き取り組む。 ○エビデンスを基に、各教科で具体的な方策を立て、シラバス等に反映させる。 ○教科部会等を時間割上に設定し、研修や協議の機会を確保する。また、次年度は校内研修を計画的に立案し、全員でなくてもフレキシブルに参加出来るような体制を作る。
		2 生徒の学習意欲を喚起させるような方策を立て、実践しているか。	B	B	
		3 クロムブック等ICT機器を活用し、個別・協働的な学習指導を実践しているか。	B	B	
		4 身に付けさせたい資質・能力に基づく、きめ細かな学習指導・評価の充実に努めているか。	B	B	
		5 国際理解教育や外国語教育などを通し、実践的なコミュニケーション能力や語学力の育成を行っているか。	A	A	
		6 異年齢集団による教育活動(行事や部活動等)の充実に努めているか。	B	A	
		7 授業評価の内容および実施は、教職員の資質等を向上させるものであったか。	C	C	
		8 校内研修を計画的かつ定期的に実施しているか。(研修を生かした教育活動を工夫しているか。)	C	C	
生徒指導部	生徒指導	9 生徒指導体制が確立され、状況に応じて組織的に対応しているか。	B	A	○生徒指導に関する記録を共有できるようにする一方、情報管理を徹底する。 ○ポロシャツについては、来年度も同様に実施予定である。 ○部活動の特例申請については、規約と部活動委員会の資料の整合性を取る方向で調整する。
		10 発達段階や集団の構成に応じた望ましい生徒集団の育成に努める活動を展開しているか。	B	A	
		11 基本的な生活習慣を確立させるための指導を行っているか。	B	A	
		12 望ましい規範意識の育成につながる自律心を育む指導を行っているか。	B	A	
		13 教育相談体制が整備され、計画的かつ状況に応じた活動を行っているか。	A	B	
		14 いじめや学校不適応生徒への取組や、予防的な取組が適切に実施されているか。	B	B	
進路指導部	進路指導	15 生徒の自治的な活動を充実させる取組が適切に実施されているか。	B	A	○「主体的・対話的で深い学び」の具体的な授業改善を示し、授業や評価方法の改善に引き続き取り組む。 ○エビデンスを基に、各教科で具体的な方策を立て、シラバス等に反映させる。 ○教科部会等を時間割上に設定し、研修や協議の機会を確保する。また、次年度は校内研修を計画的に立案し、全員でなくてもフレキシブルに参加出来るような体制を作る。
		16 6年間を見通した進路指導体制を確立し、希望進路実現に向けた組織的な指導を行っているか。	B	B	
		17 早期に自己理解を促し、生徒が主体的に進路選択できるように、計画的で系統的な進路指導を行っているか。	B	A	
		18 十分な進路情報の提供を行い、学校・生徒・保護者が一体となった指導を進めているか。	B	A	
		19 効果的な進路指導法の研究を行い、全教職員の指導力向上を図ることに努めているか。	B	B	
		20 進路相談体制を整備し、進路相談の充実を図っているか。	B	B	
生徒指導部	保健・安全	21 セミナーやスタディサプリ、模擬試験等を計画的に実施し、生徒の学習を支援しているか。	B	A	○予防的に生徒の声を拾う仕組み作りを行うことを一層充実させる。
		22 教職員及び生徒の安全対応能力の向上を図るための取組(交通安全指導・避難訓練等)が行われているか。	A	A	
		23 日常の健康観察や疾病予防、生徒の自己健康管理能力向上のための取組を行っているか。	A	A	
		24 生命を尊重し、思いやりの心を育む指導を推進しているか。	B	A	
		25 校内支援体制が整備されているか。(教育相談、校内委員会、特別支援教育コーディネーター、校内研修等)	B	A	
		26 各種行事等におけるPTAとの連絡調整が図られ、適切な運営に努めているか。	A	A	
対外・総務	組織・運営	27 校外の関係諸団体と連絡・調整が図られ、行事等の適切な運営が行われているか。	B	A	○来年度は胆振管内に加え、道央圏(千歳、恵庭、北広島)へのチラシ配付を検討する。 ○学校案内パンフレットやポスターの内容を工夫し、積極的な生徒募集活動を行う。
		28 学校評価を軸としたPDCAサイクルが確立されているか。	B	B	
		29 本校の教育活動を広く伝えるため、広報活動等の改善を行っているか。	B	B	
		30 生活習慣を確立し、異年齢交流を活かした寄宿舎生同士の良好な人間関係の構築に努めているか。	B	B	
		31 主体的に生活改善する姿勢の育成のため、各回生のリーダーやエリアリーダーを中心とした組織運営を行っているか。	B	B	
		32 HR担任や宿直担当、スクールカウンセラーと連携して教育相談を効果的に実施しているか。	B	B	
舎務部	寄宿舎	33 回生に応じた学習環境の整備と、学習意欲の向上を図っているか。	B	B	○寄宿舎生徒・保護者・教師に開かれた寄宿舎運営を充実させる。 ○主体的に生徒が学習に取り組むことのできる仕組みに変えていく。
		34 道内唯一の道立中等教育学校として、ここでしかない教育を探究できているか。	C	B	
		35 研究指定での成果を教育活動に応用しているか。	B	B	
		36 校内研修日の完全下校を実施し、研修に努めやすい環境整備をしているか。	B	B	
		37 完全退勤日や部活動休止日の設定など、勤務時間縮減に向けた取組がなされたか。	B	B	
		38 完全退勤日や部活動休止日の設定など、勤務時間縮減に向けた取組がなされたか。	B	B	

次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- (1) 中等教育学校の特色を生かした「ここでしかできない教育」の推進
・生徒の発達段階に応じた「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的充実による学習意欲、自己有用感の向上
・「教育課程の基準の特例」による学びの連続性や「少人数指導」を活かした効率的・効果的な学習指導
(2) 計画的・系統的な教育活動を推進するための組織運営体制の確立
・生徒が学習活動で生成AIを利用する取組(成果と課題)について推進する
・生成AIの活用に向けた校内の推進体制と教職員への校内研修等の取組について